

平 22 全経外第 2 号

平成 22 年 2 月 17 日

企業会計基準委員会 御中

全 国 銀 行 協 会

「無形資産に関する論点の整理」に対する意見について

今般、標記論点整理に対する意見を下記のとおり取りまとめましたので、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 認識要件について

実務にも配慮した客観性のある認識基準、あるいは無形資産として認識すべきものについての例示を設けることを検討していただきたい。

(理由)

無形資産の認識要件を定め、取得形態ごとに要件の充足が検討されているものの、無形資産として認識すべきものが具体化されていないため、各社で無形資産に計上する対象がまちまちになり、比較可能性を損ねるおそれがある。

2. 開示について

コンバージェンスの観点から、可能な限り国際財務報告基準（IFRS）と同様の開示を行う方向性には賛同するが、開示計数算定のための体制整備等に配慮し、相応の経過措置を設けていただきたい。

以 上